

事業名	観光推進体制整備費		
細事業名	おもてなし推進週間事業費	財務コード	802104
担当部課室	観光 部 観光企画 課企画・おもてなし推進 担当 (内線)	4112	

調査番号	82
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 H 23 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 県民	その対象をどのような状態にして 「おもてなしのやまなし観光振興条例」の趣旨や概要、おもてなしの重要性について理解と関心を深める	結果、何に結びつけるのか おもてなし推進の気運醸成及び自主的な取り組みの促進
	内容 「おもてなし推進週間」(毎年2月1日~7日)に合わせて、「おもてなしのやまなし県民大会」や街頭キャンペーンを実施する。 ①「おもてなしのやまなし県民大会」 平成30年1月31日、バルクラシック甲府において、優れたおもてなしを実践している方の表彰、おもてなしに関する講演等を実施した。観光事業者、観光関連団体、ボランティアガイド、一般県民など、約150名が参加した。 ②街頭キャンペーン 平成30年1月26日、甲府駅において、「おもてなしのやまなし観光振興条例」及び「おもてなし推進週間」をPRした。副知事、県議、やまなし女将の会、観光部、やまなし観光推進機構職員など約40名が参加した。		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
活動指標	県民大会参加者数	目標	300	300	300	200	200	200	200
		実績(見込)	230	150	100	150	150	150	
		達成率	76.7	50.0	33.3	75.0	75.0	75.0	
		達成区分	c	c	c	c	c	c	
成果指標	観光客の「地元のおもてなし」に関する満足度	目標	60.6	61.4	64.7	66.6	65.7	67.8	69.3
		実績(見込)	61.4	64.7	66.6	65.7	67.8	69.3	
		達成率	101.3	105.4	102.9	98.6	103.2	102.2	
		達成区分	b	b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		632	594	599	597	594	621	630	

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	c	評価	参加者は目標値には届かなかったものの、前年度と同様に約150名の参加者があった。
成果指標	b		平成23年度から事業を継続的に実施してきたことにより、山梨を訪れる観光客の「地元のおもてなし」に関する満足度は67.8%と向上しており、一定の効果が現れている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	今後も継続的に事業を実施することにより、県民のおもてなしの取り組みが促進され、観光客の更なる満足度の向上が期待される。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()
その他	説明	
見直しの必要性	有	より多くの県民に参加してもらうため、事業内容の見直しや、PRの強化を図っていく。

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	「おもてなしのやまなし知事表彰」にかかる表彰制度の見直しを行い、先進的なおもてなし・サービスを提供する事業者部門を新たに設ける。「やまなしおもてなしの県民大会」において、表彰者が自ら取り組みを発表する機会を設け、実践者の声を直接県民等へ訴えてもらうことで、おもてなし取り組みへのPR強化を図る。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。